

# 第1回越前町部活動地域移行検討委員会 議事録

日 時 令和5年9月28日(木)

午後6時59分～8時20分

場 所 越前役場 2階大会議室

## 1. 開 会

## 2. 委嘱状交付

## 3. 教育長あいさつ

## 4. 自己紹介

## 5. 委員長及び副委員長の選出について

事務局一任の声により、委員長に上田 守委員(教育関係者)、副委員長に時田和一良委員(えちぜんスポーツクラブ代表)を選出。

拍手全員で承認。委員長あいさつ。

## 6. 協議事項

### (1) 部活動の地域移行の概要について

事務局説明、オブザーバーより県内の状況(運動部・文化部)報告

(県内の状況については、試行期間等の市町もあり、本議事録には非掲載とさせていただきます。)

委員長

ただいま説明がありました。ご質問などどうでしょうか。

(質疑・意見なし)

よろしいでしょうか。また何かありましたらお願いします。

では次の議題の方、2番目の中学校部活動に関するアンケート結果について事務局説明をお願いします。

### (2) 中学校部活動に関するアンケート結果について

事務局説明

委員長

このアンケートからいろいろなご意見、問題点や課題がいろいろあったと思いますけども。ご意見などありましたらお願いします。

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | アンケートの中にも、先ほど課長さんの報告の中でも完全に部活を地域に移行しているとあるが、部活動の醍醐味として大会に出て、1年生2年生3年生一つの仲間の結果を出し、何か目標目指し、そこで活動しているっていうのが部活動じゃないかなあと。あと、その中で1年生2年生3年生、上下関係ができたりとか、地域のクラブの中で部活動で学ぶことができるのかということとか、大会とかコンクールとかの位置づけ、そういったところで地域に移行してもできるのかどうか、どうなのかなあと。   |
| 事務局 | 地域の中で、地域クラブの中で本来の部活動の醍醐味と言いますかそういったことができるのかということですが、国の方では一応地域クラブの方に移行しても、指導者等は当然平日は中学校部活をやっているわけですし、指導のギャップと言いますか、考え方の違いとかなるべく同じようなことで行っていくというふうな考えをだしております。それと大会、コンクールの出席というものにつきましては、地域クラブに移行しましても、中学校の大会には出席できると、今現在でも昨年、今年からですか地域クラブが参加できるようになってございますし、そういった体制は整っていくということは聞いてございます。  |
| 委員長 | よろしいでしょう。他に何か学校側からございますか。  |
| 委員  | 実はですね、本校はこのアンケートでもありますように好きな部活動がなかなかないというような、どうしても小学校時代にやってきたスポーツを全うしたいという子は、どんどんどんどん校外に行く、いわゆる部活動じゃないクラブ活動に所属をしていくというようなことで、4中学校の中でも結構その割合は高いかなと思います。大体15%ぐらいはそういう生徒がいます。かといってですね、いわゆるチームとして成り立たない部活動が出てきまして町当局にお願いして、ほかの中学校にもお願いをして、合同練習というのを昨年からはじめました。そして今年度から合同チームで大会に出るといったようなことをやりました。同じようなことを吹奏楽部も4月の段階で合同練習を行いました。本校の生徒に感想を聞きますと、やはり大きな集団で活動できたということはすごくよかった、刺激をもらったっていうこと。そして、本来ならば大会に出られなかったのですが、出ることができた。すなわち、大会の醍醐味を体験できたっていうことで、いい感想を受けています。ただ本来ならば単独で出たいんですが、今後ともこういう活動をやっていきたいんですが何分ですね、少子化が進行する、或いは統廃合の問題もあり、なかなか難しいことになるかもわかりませんが、だから今後どうするかっていうことを考えていかなければいけないかなと思います。当然、私個人としては単独で何とか出たい気もあるんですけど |

も。そういう考えもあり、あるいは合同チームとして出るっていう、そういういろんな選択肢があると思いますので、その選択肢を残しつつ、少しずつ実現可能なものから移行していくといいかなと、現実的かなって思っております。以上です。

委員長

ありがとうございました。メリットもあり、或いはデメリットあるようですが、そういったことをいろいろ考えながら、ほかの中学校も多分同じようなことになっているのではと思います。

委員

2 ページの 4 番の質問、入りたい部活を選んでください、という問いで織田中学校も 41%が入りたい部活がないということでもあります。以前は、学校の部活動に必ず入りなさいという指導をしておりまして、それはなぜかと言いますと、部活動が部員不足で廃止にならないようにということで、強制的に必ず学校の部活動に入りなさいという指導してまいりました。ところが先ほど校長先生もおっしゃったように、やりたい活動をやらせるというスタンスに変わっておりまして、これはスポーツ庁の令和 4 年 6 月 6 日の地域移行に関する検討会の提言の最初の意義にありますように、生徒のスポーツに親しむ機会を確保するという、ここから県の中体連も、或いは県の知事部局さんの方でも、とりあえず小学校でやっていたスポーツをやることをじゃましないと、いうことで必ず学校の部活動に入りなさいといったことはしないように指導を受けております。例えば、本校で言いますと今年入りました 1 年生、男子 16 名いますがうち 11 名は小学校の時にやっていたスポーツをそのまま続けるということで、本校の部活動に入っておりません。代わりに当然部員不足になりますから、各部の人数が少なくなっております。そこで先ほど校長先生おっしゃいましたように、他校と合同のチームを組むことによって部活動を選んだ子についてもきちんと活動の場を確保すると、いうようなことで結構我々にとりましては、本当に待ったなしの所まで追い込まれております。小学校から続けたスポーツもやらせたい、そして中学校で部活動を選んだ子も存続させたい、というようにことで以前と随分違った性格になっていることもご理解いただきたい。以上です。

委員長

ありがとうございました。今の委員のお話は部活動をしたい、かと言って賛同できない子どもと言いますか、もちろん好きなスポーツ色々ありますので。そうやってやることは生涯スポーツの観点からもすごくいいことだと思う。でもその両立が今の越前町では生徒の減少でなかなかできない。部活動もそれに伴って増やすことができない。ただ違った、はっきり言いますと統合とかに繋がってしまうのですが、それはさておきまして現状

の休日の地域移行というところを主眼にしていろいろ検討をお願いしたい。

副委員長

アンケートで、すごく気になったことがあって。この回答率なんですけど。回答率ってのは事務局に聞きたいんですけど、小学校が52.6%、中学校が37.2%とか、38.8%とかになっているんですが。しかもその上、小学校だと、5年生ですか6年生ですかと、全体の回答率が44.3%ぐらいということは回答率1学年22%ぐらいしか、10何%しかないんか、という話なんですけど、まずはそういうことでしょうか。

事務局

このアンケートにつきましては、ホーム&スクールといいまして、ネット上でしております。アンケートの時期が、夏休み中といったこともちょっと影響しているのかなというふうな思いはございます。以上です。

副委員長

何が言いたいかという、先ほど県の方からA町の話なんですけど、アンケート結果によって土日の部活動をしない、それに近い判断をされたというお話を聞いてすごくびっくりしたんですけども。そもそも土日部活移行に興味がない人がそこまで多いのなら、ここまで考える必要がないかっていう話なんですけども。このアンケートの数値が果たしてこの正当性、正しい数値かどうかというのは判断がちょっとつきかねる部分があるんですけど、その点事務局はどうお考えなんでしょうか。

事務局

これは結果でございまして、これがすべてではありませんし、検討する上での参考にいたします。

副委員長

回答していない人はどう思ってるんやっていう話が一番すごく気になって、肌感的にまず先生方、特に中学校というか小学生に聞いたほうが良いような気もするけど、部活動に対する意義っていうか、ちょっと僕も総合型をやっている関係上、大分保護者の方に温度差がある、考え方に温度差がある中で、どういうふうにこれから向き合っていくのか。ちょっと最近よく考えることで、随分昔から、これについて発表された時からすごく気になって、町議会の時から勉強させてもらったんですけど。

委員長

これは何回か、またアンケートを取るの。ネット上でやりましたがペーパーでやるとか、そういう計画はあるの。

事務局

今のところ、アンケートは一応これで終わりと思っています。アンケートはどなたが回答されているのかというのも分かりませんので、追跡する

のも難しい状態でございます。

副委員長

いやらしい質問で申し訳ない。これをもとに考えていくということなんですけど、何が言いたいかっていうと、そもそも学校の先生の働き方改革によって、土日の部活動を学校から切り離したい、っていうのはそもそも、教育関係者側には当然あると思うんです。その中で、土日の部活動を地域移行すべきという結論がね、いつも質問させてもらってるので苦笑いをされてますが、なかなか福井県も国からはしご外されたところもあって大変なところあるんですけど、そこを考えたときに、なかなかこう突き詰められる部分があって、ただ、僕いつも言うように越前町としては肅々と越前町モデルを作っていくべきやと思ってますんで、この意見を最大公約数と考えると、進めていければいいと思うんですが、なかなか何せ今びっくりしたのはA町の判断だけすごいびっくりした。そういう考え方もあるんやな、という発見でした。事例もいいこと言ってますけど正直中々難しいです。

オブザーバー

A町の取り組みの補足説明

(県内の状況については、試行期間等の市町もあり、本議事録には非掲載とさせていただきます。)

委員

結論から申し上げますと、平日部活動、休日に地域移行となってくると、部活の顧問の先生と地域の指導者との連携はきちんとってほしいなと思います。特にスポーツを教えるあるある何ですけど、顧問の先生はこう言っているのに地域の指導者はこう言う。子供たちはどっち信用したらいいんやろう、混乱しやすいので。そこら辺の教え方の連携をきちんとしてほしい。

事務局

このアンケートの自由意見にも、指導者と先生との連携っていうのは不安に感じていたり、しっかりして欲しいという意見ございましたので、そういったことは十分検討しながら対応していきたいというふうに思っております。

委員

そもそも土曜日の地域移行での活動というのは強制みたいな、部活動ってことで土曜日やるのか。

事務局

一応、部活動ということではなくて、国は地域クラブとして、土日に今まで部活動としてやっていたものを、土日は地域クラブとして行うということで、最終的には部活動ではない、ということになります。

委員 例えば平日、学校でバレーをしていて、土曜日、バレーしたい人はどこどこ行ってバレーするし、したくない人は行かなくていいってことなのか。

事務局 行きたい人だけ行く、行かない人は行かないというような結論はまだ合意ができておりませんので、越前町としてはそういうやり方をすることとも考えられます。だから来た人だけ、土日参加してもいいというふうなことでも進めていくことも考えられる。

委員 部活動地域移行って書くからみんな送迎が負担とか思うが、でも親的に言うと多分、子供がしたいと言えば送迎はそんなに普通じゃないかと思うんです。例えば子供が何かしたいで福井に行きたいとか、どっか行きたいって言えば連れて行くんですけど。ただ、これ送迎が手間な人は多分、部活動って言うで絶対に行かなあかんと思うで、子どももしたくないのに何で連れてかなあかんのやと思っている。

事務局 もう部活動というものではなくなり、この休日の地域クラブになるという認識です。

委員 部活動じゃないってことですね。

事務局 国は、最終的には部活ではなく地域クラブとして。資料1の3ページにございます下の部分ですけれども、下の部分は部活動として行って部活動の指導だけを、先生じゃない方が行うというようなものですが、段階的にはこれでいいんですけれども最終的には、その上の表ですね、休日の地域クラブ活動ということで、部活動ではないものにしていくということです。

委員長 保護者の方も地域移行についてなかなかまだご理解いただけてないと思います。僕らも一緒かもしれませんが。そういったことを丁寧に説明していく必要があるのかと思う。

委員 今、お話いろいろ聞かせていただいている中で、やはり分からないことも非常に多くて、先ほど他の市町の取り組みなども口頭で説明頂いたんですが、なかなか書面でというのは難しいと言われているんですが、他のところも検討委員会設けられているみたいですし、できれば先行されているところの情報などがあると非常に助かるということもありまして。おそらく他の市町の検討委員会の方なんかも、分からないこともあると思いますし、

うちらだけでというよりは県下で色々やっている取組を情報共有できる形を作っただけだと、私も考えがまとまりやすいかなあとと思います。難しいとは思いますが検討いただければと思います。また宮崎中学校は他の越前中や織田中との合併というのも、ちょっとそこは置いておいてという話もありましたが、先ほどのB市さんの話ではその辺を視野に入れながら進められているというのもありましたし、そういったところを参考にできると助かるなと思いますので、検討いただければと思います。

事務局

市町によってはまだ模索しているところもあると思いますので、すべて情報提供できることとは思いませんけれども、市町によりまして情報提供してもいいというところがありますので、そこについては、この場ではなくてですね、保護者さんも気になるころだと思っておりますので何らかの形で共有できるようにしたいと思っておりますし、先ほど資料1の3ページに書かれています内容につきましても、ちょっとほかの保護者様にもわかるような、お知らせする形でちょっと考えたいなと思っております。当然、この会議の結果はお知らせしなければならないと思っておりますので。その中で、資料などつけながらお示ししたいなと思っております。

委員

初めてこういう話を聞きました、全く新しいこと何ですけど。私ら子供もおりませんし保護者でもないの、とにかく私らとスポーツ協会などは日曜日にやるから指導者を出してくれという立場かなあとと思う。ただ、話ができているような感じがして色々な問題点があって、じゃあ後は解決策を立てるようなストーリーになっているような感じがする。だから会議の意味がちょっと分からんところがある。今後どういう進め方をして、最終な結論出されるかと思うんですけど。各市町の話も出ています、同じような問題も出ていると思うし、それに対して対策案も出ているような感じもしますし、越前町も地域的に離れているところもあって色々問題もあるかもしれないけど、今後どのように進められていくのかなあと、聞いていても先が見えているような気がして。

事務局

今日ご意見いただいて、今後どういうふうに進めるかということですが、先ほども、県の課長さんの方から県内の状況を教えていただきました。これはそれぞれ地域の実情もございまして、当然越前町に当てはまるようなことばかりではありません。県内の状況も参考にしながら、そしてこのアンケート調査の結果も参考に、そして本日の皆様のご意見も参考に。また、委員さんもおっしゃったように、指導者を越前町としてどのように確保ができるのかを次回までにまとめまして、越前町としてできるやり方が何パターンかできると思うんです。そこでメリットとかデメリット

ットとかがあると思いますので、その辺をこちらの方でお示しをして、再度協議をしていただこうと思っております。

委員長 ほかにないようですので、これで協議を終わらせていただきます。

#### 8. 閉会

副委員長あいさつ

出席者 委員 11名、オブザーバー 2名

欠席者 委員 1名

事務局 教育長、教育委員会事務局長、学校教育課長、学校教育課長職員 2名